

# 意見交換会概要

日時	平成25年 8月 7日（水） 19 : 30 ~ 20 : 50
場所	浜村小学校PTA（気高町総合支所）
参加者数	8人
出席者	長谷川参事、校区審議室（神谷、小谷、清水）、山田支所長、茅山課長補佐

発言者	主な意見、質問等
参加者 A	鹿野中と青谷中校区でもこの話をされたと思うが、どのような意見が出ているのか。
参加者 B	小規模校特別転入制度の話をされて、小規模校の良さをPRしているにも関わらず、人数が少なくなるので統合をという話が出ているという真反対の取り組みをされている。どういう考えなのか、少し不信感を持っている。もっと小規模校の支援制度を大々的に進める努力をしないのか。
参加者 C	駅から近いので浜村小の場所に統合中学校、気高中の場所に統合小学校という案だが、気高中の急な坂を小学校1年生に歩かせて通わせるのか。通学に関して心配がある。実際に中学生でも、風があれば傘をさすのもきついと聞いている。通学方法はどうか考えているのか。
参加者 A	このまま単独であれば、気高中学校は何年度に建築されるのか。
参加者 A	今年の1月に資料いただいた時から具体的な案が示されて「統合ありき」の話で、早急過ぎないかと苛立ちを感じていた。仮に浜村小の場所に統合中を持ってきたとして、周りの人が気にするのは、各地域から集まって人数が増えることで荒れたりほしくないか、隣に保育所もあり分からないが、多少の影響があるのでは、と考えたりするとも聞いた。推計では人数が減っていくとのことだが、市としてその地域に人を根付かせる施策をしてもらわないと衰退する一方だと思う。将来的にこの田舎の西部地域に人は住まなくなるのではないか、学校がない所に人は住みませんから。特に若い方は、通学のことを考えたら、市内寄りの便利のいい所に出て行ってしまおうのが衰退の現状だと思う。そういうことを教育委員会だけではなく、市全体で考えてもらわないといけない。説明では人が減っていくことを主張して、脅しているようにしか思えない。そうではなくて増やすことを考える、ということもあっていいと思う。
参加者 A	市町村合併の時も、その直後に、住んでいる人は頭をひねることがあったので「合併」という言葉に拒否反応を持っている気がする。合併で鳥取市になって、住んでいる人はどうかというと「市になってからやりにくくなって、前の方がいい」という意見も聞きますし、「合併」という言葉に抵抗があると思う。小学校の低学年以下の子供が中学生になった時に校舎が新築されるようなので、現在の中学生や小学校高学年の保護者は、「関係ない」みたいなところで、どうしても関心が薄いという現実もある。
参加者 B	中学校が統合した場合、通学バス等をつくる方向もあるという話だが、便数等の具体的なものはあるのか。
参加者 B	メリットの中に部活動が充実すると書いてあるが、現実問題、青谷の奥部の子は通学が不便になるし、通学にJRの利用の可能性もあるように書いてあり、便数が1時間に1本あるかないかの田舎で、本当に部活動が充実するのか疑問がある。確かに人数が増えれば選択種類が増えるし、競争心というのは出てくるとは思う。